

「長崎さるく博」が切り開いた 都市観光の可能性

開催概要

(財)日本交通公社の「旅の図書館」(観光文化資料館)開館25周年を記念して03年10月に開始された「観光文化セミナー」だが、参加者の要望に応え春季にも開催することとなった。今回は春季開催の初回となる。講師として機関誌『観光文化』177号に「長崎さるく博への誘い」をご寄稿いただき、本イベントのコーディネータープロデューサーも務められた茶谷幸治氏をお迎えした。「さるく」とは長崎弁で「ぶらぶら歩く」という意味。長崎の魅力は「まち歩き」にある、を基本コンセプトに「長崎さるく博」の解説を展開した。今までのイベントは成功したとはいえ、その時限りで終了してしまうのが通例だが、「長崎さるく」は、市民が主体の手作り(地元主義)に徹したことで、“わがまちの魅力は自ら築く”の機運が生まれ、持続されている。

■ 担当者 外川宇八・渡邊サト江

■ 場 所 第一鉄鋼ビル B1F 会議室

■ 日 時 07年4月26日

■ 主 催 (財)日本交通公社

プログラム

16:30～18:00 「長崎さるく博」が切り開いた都市観光の可能性
講師：イベントプロデューサー 茶谷幸治氏

18:00～19:30 懇親会



参加者数 35人